

## 県内6消防本部と 火災時の給水協定で地域貢献

- 山梨生コンクリート協同組合
- 峡南生コンクリート協同組合

山梨生コンクリート協同組合(瀧田雅彦理事長 組合員12社)と峡南生コンクリート協同組合(柳澤晋平理事長 組合員5社)は、山梨県内6地区の消防本部と「火災時における消防用水の確保に関する協定」を締結した。



あいさつを行う瀧田理事長

協定に参加した消防本部は、甲府地区、峡北、笛吹市、峡南、東山梨、南アルプス市で、県の中央部から西部を網羅している。主な協定内容は ①大規模火災の発生時に組合は消防機関からの要請を受けてコンクリートミキサー車で消防用水を運搬し、消火活動を支援する ②災害時の円滑な対応のための共同訓練の実施する などとなっている。

協定締結式は、甲府地区消防本部で昨年12月6日に関係者30名余りが出席して行われた。

締結式の冒頭であいさつに立った今井洋甲府地区広域行政事務組合消防本部消防長は「2016年11月の新潟県糸魚川市での大規模火災を教訓に、災害発生にスムーズな消火活動の体制を整備することを目的に協定を結んだ。水源のない火災現場においても消火作業に不可欠な水の確保ができることになり大変心強く感じている。両協同組合に感謝



協定締結式でがっちり握手を交わす

したい。」と述べた。

また、両組合を代表してあいさつした瀧田理事長は「生コン業界は社会基盤を構成する基礎材料の供給を通して、これまでも地域貢献をしてきた。地域密着産業として、今回の協定により防災面でも地域住民の生命・財産の安全確保の一翼を担えることを光栄に思う。今後も消防本部と連携し、より一層地域に貢献していきたい。」と語った。